

## オランダと日本の文化の違いを通して

徳毛涼子 オランダ

私は高校3年生の夏からオランダへ1年間留学していました。オランダはドイツとベルギーに隣接している西ヨーロッパの国です。九州地方と同じくらいの面積の小さな国で、オランダ語を公用語としています。私はそんなオランダで現地のホストファミリーと生活しながら、現地の高校に通い、多くのオランダ文化を肌で感じる事ができました。

私がオランダ留学をすると決める前に私がオランダについて知っていたことと言えば、オランダ人が世界一身長が高い人達だということくらいでした。しかし実際にオランダで生活をスタートさせると、オランダ人の色々な側面が見えてきました。一つ目はオランダ人は英語がとても上手だという事です。既にも書いたように、オランダの公用語はオランダ語です。しかし、オランダは英語ノンネイティブの国の中で一番英語が上手いと言われていています。これはオランダ語が英語に似ているからというのもあると思いますが、移民の多いオランダでは日常生活で英語が必要になる場面がよくあり、その事も理由としてあると思います。また、街中を歩いているとオランダ語や英語以外の言語が聞こえてくるのが普通で、学校のクラスメイトもほとんどの子が2か国語か3か国語が喋れると言っていました。二つめはオランダ人はとても個人主義で自由な国民性を持っているという事です。私が友達とドイツへ旅行したいと行った時も、ホストファミリーは「あなたが行きたいなら行ってきなさい。自分で計画して自分で自分の身を守ってね。」と言って、行くことを許してくれました。ただし、全て自分達で計画し一切ホストファミリーは口を出したり手伝ったりはしませんでした。二つめはオランダ人は自転車をよく使う事です。オランダは平地がほとんどで、自転車で移動するにはもってこいの地形をしています。人間の数よりも自転車の数の方が多いと言われるくらい、オランダ人にとって自転車は日常の生活に欠かせないものであり、会社や学校、近所はもちろん、公共交通機関にも自転車を載せる事ができるので遠出もします。私も学校まで14キロを自転車で通っていました。このようにヨーロッパの国であるオランダと、アジアの国である日本では当たり前ですが本当に多くの違いがありました。

その中でも特に、私がオランダ人の家族と生活していて一番びっくりした文化があります。それは食文化です。私は最初、オランダ人は毎日ジャガイモばかり食べているのかと思っていました。それは、ジャガイモがオランダ人の主食だと聞いた時、私が日本で毎日3食お米を食べている感覚でオランダ人もジャガイモを食べていると思ったからです。しかし実際には、オランダ人は、正確には私のホストファミリーはジャガイモも、お米も、パスタもパンも何でも食べる人たちでした。食卓には中華料理やインドネシア料理、トルコ料理などが並ぶことも珍しくなく、初めてみる料理ばかりでした。もちろん伝統的なオランダ料理というのももちろんあります。

私にはオランダ料理の中でも特に家庭料理として欠かせないと思う食べ物が二つあります。一つ目は私がホストファミリーの家で一番よく夕食に食べていたStampot (スタンポット) という伝統料理です。Stampは「潰す」という意味で、じゃがいもを潰しお肉と一緒に食べるシンプルな料理です。潰したジャガイモの中には、ケールやビーツなどの野菜が混ぜられてい

て、一緒に食べるお肉はソーセージだったり牛肉だったり様々です。私のホストファミリーの家では、これに加えて茹でたインゲンかカリフラワーを添えるのが恒例で、仕上げにチーズソースかグレイビーソースをかけます。

そして二つ目は私が一番好きなオランダの料理、Erwtensoep（エルテンスープ）です。Erwten(エルテン)はえんどう豆の事で、えんどう豆の他にジャガイモ、ニンジン、ソーセージなどを長時間煮込んだスープです。少しドロドロとした重たいスープで冬限定で食べられている食べ物です。



Erwtensoep(エルテンスープ)

オランダでは、主食としてジャガイモが食べられており、ジャガイモを使った料理が数多くあります。そこで私は、留学前から思っていた「オランダの人に日本食を紹介したいという」願いを叶えるために、オランダ人の主食であるジャガイモを使った日本食をホストファミリーに食べてもらうことにしました。何を作ろうか迷っている時に、私は学校の食堂で食べた味噌ポテトがとても美味しかったのを思い出して、人生で初めて味噌ポテトを作ることにしました。また埼玉県の名物ということもあり、地元埼玉を食で感じてもらえる機会にもなるのではと思いました。ジャガイモはもちろん簡単にスーパーで手に入り、味噌や酒も同じように買うことができました。オランダ人は普段ジャガイモを茹でて食べる事が多いため、揚げる事に驚いていました。味噌も地元のスーパーにはあったものの、見た事も食べた事もなかったようでこれは何なのかと興味津々でした。実際に食べてもらうと、「美味しい！」というはっきりとしたポジティブな感想は来なかったのですが、味噌のソースが今までに味わった事のない味で面白いと言ってくれました。ちゃんと美味しい時でないとも美味しいとは言わないところがオランダ人らしいなと思いました。それでも結局作った味噌ポテトを全部食べてくれて、とても嬉しかったです。



ホストファミリーが私の作った味噌ポテトを食べてくれた

私はこのオランダ留学でホストファミリーから多くの事を学んだと思います。日々一緒に生活をする事で、彼らの生活から見えてくるオランダ人の歴史や考え方があり、それはこの留学で得た最も貴重な学びだったと思います。また逆に、私の歴史や考え方に興味を持って、それを尊重してもらえるとという体験をしました。これらの経験は私がこれから先色々な人と関わっていく上で活かされ続けると思います。またオランダという国やオランダ人という人たちについて知れたことはもちろん、それと同時にオランダに行った事で日本という国をさらに知ることができました。なので私はこれからももっと日本以外を知ることによって日本を知っていきたいと思います。